

AMDA 活動報告

スマトラ島南西部地震 緊急医療支援活動を終了

NGO 団体アムダ（岡山市植津、菅波茂理事長）では、館野和之調整員のほか医師二名の医療チームが、インドネシア・スマトラ島南西部地震による被災者の医療支援活動を行った。

一行は先月十六日に西スマトラ州の州都パダン市入りした後、現地の保健省総務部長らから被害の状況を調査。十九日からは、被害が特に大きかった同州南部のルナン郡で

外来診療を始めた。

二十一日にはパダン市の南に位置する、ペシシール・セラタン県内の二ヶ所の保健センターを訪問して、医薬品を寄贈した。同チームの報告によると、同国政府の迅速な行動により、病院などは通常通りの診療を行っているという。

これを受け二十二日、一行は被災地での緊急医療支援活動を終了を決定、帰国の途についた。



被害状況を調査する医療チーム